



# 益丸海岸から 日本縦断の旅へ

## 今給黎教子さんが 帆つきカヌーで出航

1991年から92年にかけて単独無寄港世界一周に成功している今給黎教子さんが、7月27日(日)、くへの松原の益丸海岸から北海道室蘭市に向けて出航しました。



今給黎さんが、このたび、益丸海岸からの出発を選んだ理由としては、錦江湾を抜けた出たときの荒波の影響を考慮したためで、今給黎さんの友人である、くへの松原キャンプ場管理人の堀之内裕之さんがこの地を薦めたからだそうです。

出発前日には、町営プールで帆つきカヌーの実演が行われました。そこに集まった子ども達は、実際にカヌーに乗艇することができ、貴重な体験となったようです。

当日は、出発に合わせて、



大崎町高校生クラブ『響』の太鼓演奏が始まり、集まった約二百人の方々は、大きく

手を振り見送りました。

今後の予定は、太平洋沿岸を航海し、九月下旬に神奈川県に到着。いったん鹿児島県に戻り、その後、来年七月に神奈川県を再出発。来年九月に北海道室蘭市に到着する予定です。

今回、使用されている帆つきカヌー『One Dream (ワンドリーム)こども号』は、全長四・三メートル、重量三十キロで四メートルのマスケットに三角形の帆が付いています。



## 関東大崎会が 開催されました

六月二十九日(日)に東京都千代田区の主婦会館プラザで『関東大崎会の総会及び懇親会』が開催され、約百六十名の方々が参加されました。

平成四年に開催されて以来十一年ぶりの開催ということで、総会後の懇親会では参加された皆さんが懐かしい顔ぶれとふるさと大崎について楽しそうに話しながら、大崎産のさつま揚げなどをつまみに大崎産の芋焼酎を酌み交わしました。さらにデザートには大崎特産のハウスみかんが振る舞われ、会場内は鹿児島弁ならぬ大崎弁で大賑わいでした。



閉会前には「また来年もすつど」という声があちらこちらから聞こえてきました。